

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		武蔵野市国際交流協会						
①	指標名	外国人防災対策事業の構築			目標値	外国人防災カード、防災マニュアルの作成と関係課による協議の開始	実績値	防災マニュアルの作成、配布
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率		達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)							
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① ボランティアの協力を得て、防災マニュアルは8ヶ国語に、防災マップは3ヶ国語に翻訳。市総合防災訓練や各種イベントで配布 (② 平成19年6月に外国人のための防災委員会を立ち上げた。) (③ 関連機関との連携として、国際交流協会としての災害時のアクションプランを作成し、市の防災計画に盛り込む協議を始めた…19年6月)						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 協会としての災害時アクションプランの検討と市防災計画とのリンクは、市サイドとの時期のすり合わせの都合から19年度になったものである。ボランティアベースでの防災マニュアルの作成、配布については、他のボランティア事業と並行しての取り組みとしては良好成果をあげていると評価できる。							
二次評価	●18年度は、「外国人防災対策事業の構築」を指標に「外国人防災カード、防災マニュアルの作成と関係課による協議の開始」という目標を設定していたが、「防災マニュアルの作成、配布」のみで、他は市の都合等により目標を達成できなかった。しかし、外国語版の防災マニュアルや防災マップの作成という成果物があり、一定の評価はできる。 ●今後、わかりやすい目標値を設定し、計画的に事業に取り組んでいく必要がある。							
②	指標名	公益法人会計に準拠した会計処理			目標値	事業別決算への移行の促進	実績値	事業別決算シートの作成
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率		達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)							
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 18年度決算書に参考資料として事業別決算を添付した。19年度からは、経理ソフトと連動させた事業別決算を月次報告段階から行っている。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 公益法人化を念頭に引き続き進めていく。							
二次評価	●公益財団法人化への準備として、公益法人会計基準に沿った会計処理を行うことを目標に掲げているが、その達成度についての評価は困難である。 ●財務に関する経営目標であるため、できるだけ数値目標を設定し、その達成度等を評価できるように工夫する必要がある。							
③	指標名	公益財団法人設立への着手			目標値	公益財団法人設立に係る市の意思決定と具体的な準備の開始	実績値	公益財団法人設立に係る市の意思決定と具体的な準備の開始
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率		達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)							
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 協会理事4人による法人化検討委員会が18年6月に、20年度の公益法人改革関連法の施行後に、同法に基づく公益財団法人を設立すべしとの報告を作成 ② 7月、上記内容を協会理事長から市長に報告 ③ 10月、協会理事会で法人化の方針を採択 ④ 事業別決算書を作成						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 法人化に向けての意思決定、会計処理等事務体制の整備を行った。 基本財産は300万円以上あれば設立基準をクリアできるが、財務基盤(独自財源…事業収入、会費収入)の強化策が課題である。法人化のメリットを独自性の強化に見出すなら、現行の市の補助金頼りの体制からのテイクオフを念頭におかなければならない。逆に、「武蔵野市」の看板を掲げ、市からの補助金に負うところが大きいなら、「市民」に利益の還元のある事業展開を強化する必要がある。							
二次評価	●公益財団法人化をするという目標に向かって、着実に準備を行っており、市との協議を進めたことにより、当初の目標を達成したと評価しているが、目標の設定としては数値目標化することが求められる。(例えば、いつまでに何を行うというように時期を目標にすることもできる。) ●一次評価にもあるとおり、なぜ財団化するのか、財団化後の経営をどうするのか等しっかりと市と協議しておく必要がある。							